

横芝光町

第77号

2025年(令和7年)
8月1日発行



栗山川で夏をさそどり



カヌー体験を楽しむ白浜小の子どもたち

- 議長・副議長就任あいさつ 2 P
- 5月臨時会・6月定例会・議会ダイアリー 3～4 P
- 一般質問 5～14 P
- 広報研究会・議員研修会・議会を傍聴しませんか 15 P
- 町内視察・自治功労者表彰・編集後記 16 P

新議長に小倉弘業議員 新副議長に秋鹿幹夫議員を選出

議長
小倉弘業副議長
秋鹿幹夫

就任のごあいさつ

町民の皆様におかれましては、日ごろから町政並びに町議会に対しまして、格別のご理解と力強いご支援を賜りまして、心より感謝申し上げます。

私どもは、去る5月臨時会において、議員各位のご推挙により、議長・副議長の要職に就任いたしました。誠に身に余る光栄であると同時に、その重責に身の引き締まる思いでございます。

町議会といたしましては、町民の皆様様の声をしっかりと受け止め、少子高齢化や物価高騰、災害への備えなど、さまざまな課題と真摯に向き合い、社会・経済情勢の変化に迅速かつ的確に対応してまいります。

そして、円滑な議会運営を図り、町民に信頼される議会、開かれた議会をつくりあげていきたいと考えております。今後とも、町民の皆様には、なお一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝をご祈念申し上げます。就任のごあいさついたします。

正副議長の改選に伴い、委員会の構成及び一部事務組合議員が次のように決定しました。

※変更があったのは、議会運営委員会の委員、民生文教常任委員会の委員長及び副委員長、一部事務組合議会議員では八匠水道企業団議員・山武郡市広域行政組合議員で、太字で表記しています。

■一部事務組合議会議員■

職 名	氏 名
匠瑳市横芝光町消防組合議員	秋鹿 幹夫
	小倉 弘業
	市原 成一
匠 瑳 市 ほ か 二 町 環 境 衛 生 組 合 議 員	山崎 義貞
東 総 衛 生 組 合 議 員	川島 仁
	森川 貴恵
八 匠 水 道 企 業 団 議 員	小倉 弘業(議長)
	霞 浩子
山武郡市環境衛生組合議員	鈴木 唯夫
	鈴木 克征
山武郡市広域水道企業団議員	宮蘭 博香
山武郡市広域行政組合議員	小倉 弘業(議長)
千葉県後期高齢者医療 広 域 連 合 議 会 議 員	川島富士子

議会運営委員会

委 員 長	鈴木 唯夫			
副委員長	川島 富士子			
委 員	鈴木 克征	川島 仁	鈴木 輝男	
	宮蘭 博香	市原 成一		

総務経済常任委員会

委 員 長	川島 富士子			
副委員長	市原 成一			
委 員	鈴木 克征	宮蘭 博香	森川 貴恵	
	小倉 弘業	霞 浩子	森 大地	

民生文教常任委員会

委 員 長	川島 仁			
副委員長	鈴木 輝男			
委 員	鈴木 唯夫	山崎 義貞	秋鹿 幹夫	
	印東 彦治	内田 美穂		

6月定例会

補正予算など11議案を可決・同意

令和7年6月定例会は、6月3日に招集され14日間の会期で開催されました。
定例会に提出された議案は、町長提出11議案と報告3件で、いずれも慎重な審議が行われ、可決・同意されました。
また、9名の議員による一般質問及び請願・陳情の審議を行い、6月13日に閉会しました。

議決結果《6月定例会》

賛成＝○ 反対＝●

議案11件、報告3件のうち、賛否が分かれた案件は2件でした。議案名中の「横芝光町」と「～について」は、省略表示しています。

議案番号	議案名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	12	13	14	15	16
			森大地	内田美穂	霞浩子	市原成一	印東彦治	小倉弘業	森川貴恵	秋鹿幹夫	宮園博香	山崎義貞	鈴木輝男	川島仁	川島富士子	鈴木克征	鈴木唯夫
議案第1号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	九十九里地域水道企業団規約の変更に関する協議	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	九十九里地域水道企業団の解散	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	九十九里地域水道企業団の解散に伴う財産処分	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	町道路線の変更	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	令和7年度一般会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	●	○	／	○	○	○	●	○	○	○	○	○
議案第7号	令和7年度病院事業会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	教育委員会教育長の任命(小川 重之氏)	同意	○	○	○	○	○	／	○	○	●	○	○	○	○	○	○
議案第9号	教育委員会委員の任命(加瀬 博幸氏)	同意	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	横芝小学校改築外構工事請負契約の締結	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	横芝小学校隣接駐車場整備工事請負契約の締結	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第1号	令和6年度一般会計継続費繰越報告																
報告第2号	令和6年度一般会計繰越明許費繰越報告																
報告第3号	令和6年度病院事業会計建設改良費繰越報告																

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ、「議長採決」として表明します。

5月臨時会

専決処分・光中学校及び横芝中学校講堂棟空調設備設置工事請負契約の締結を可決

5月臨時会は、5月16日に招集され1日の会期で開催されました。
臨時会に提出された議案は、町長提出3議案で、慎重な審議の結果、原案どおり可決されました。

議決結果《5月臨時会》

賛成＝○ 反対＝●

議案3件のうち、賛否が分かれた案件は1件でした。議案名中の「横芝光町」と「～について」は、省略表示しています。

議案番号	議案名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	12	13	14	15	16
			森大地	内田美穂	霞浩子	市原成一	印東彦治	小倉弘業	森川貴恵	秋鹿幹夫	宮園博香	山崎義貞	鈴木輝男	川島仁	川島富士子	鈴木克征	鈴木唯夫
議案第1号	専決処分の承認を求めること(税条例の一部を改正する条例の制定)	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	専決処分の承認を求めること(国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定)	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	●	○	○	○	○	○
議案第3号	光中学校及び横芝中学校講堂棟空調設備設置工事請負契約の締結	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ、「議長採決」として表明します。

請願 2 件・陳情 1 件を採択、【継続審査】陳情 1 件を不採択

6 月定例会に提出された請願 2 件と陳情 1 件は、民生文教常任委員会へ付託され審査されました。また継続審査となっていた陳情 1 件は、総務経済常任委員会で審査されました。

結果は下記のとおりで、採択された意見書 2 件は議長名で各関係機関へ提出しました。また、採択された陳情書は関係機関へ送付しました。

件名 請願・陳情者氏名	付託 常任委員会	本会議の 採決	発議件名 採決	意見書 提出先
請願第 1 号 「国における 2026 年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書 子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉県連絡会 会長 吉田 瑞穂	民生文教 常任委員会 採 択	採 択	発議第 1 号 国における 2026 年 度教育予算拡充に 関する意見書 可決・全会一致	内閣総理大臣 財 務 大 臣 文部科学大臣 総 務 大 臣
請願第 2 号 「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書 子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉県連絡会 会長 吉田 瑞穂	民生文教 常任委員会 採 択	採 択	発議第 2 号 義務教育費国庫負 担制度の堅持に関 する意見書 可決・全会一致	内閣総理大臣 財 務 大 臣 文部科学大臣 総 務 大 臣
陳情第 1 号 加齢性難聴者への補聴器購入のための公的助成を求める陳情書 山武郡生活と健康を守る会 会 長 小川 征四郎 事務局 忒山 兼重	民生文教 常任委員会 採 択	採 択		
【継続審査】陳情第 1 号 政党機関紙の庁舎内勧誘行為における庁舎管理規則の徹底を求める陳情書 パワハラから職員を守る千葉県民の会 代 表 竹村 祥	総務経済 常任委員会 不採択	不採択		

議会ダイアリー

5 月

- 1 日・第 2 回総合計画審議会
- 8 日・議会運営委員会
- 10 日・食肉センター同業組合定期総会
- 16 日・5 月議会臨時会
- 17 日・九十九里町政施行七十周年記念式典
- 21 日・例月出納検査
- 23 日・議会運営委員会
- ・光小学校運動会
- ・地域福祉計画策定委員会
- 24 日・白浜小学校運動会
- ・上堺小学校運動会
- ・横芝光町航空機騒音等対策協議会総会
- 25 日・成田空港の更なる機能強化着工式典
- 26 日・令和 7 年度第 1 回千葉県町村議会議長会定例会及び政務研究会
- 28 日・議会議員全員協議会
- ・主要地方道飯岡一宮線バイパス建設促進期成同盟会令和 6 年度分監査
- 29 日・横芝小学校運動会
- ・光中学校体育祭
- 31 日・日吉小学校運動会
- ・東陽食肉センター獣魂祭
- 6 月
- 2 日・山口県光市長表敬訪問
- ・山武郡市議会議長会臨時総会
- 3 日・6 月議会定例会(1 日目)
- 6 日・横芝中学校体育祭
- 10 日・6 月議会定例会(2 日目)
- 13 日・6 月議会定例会(3 日目)
- 14 日・横芝光町シルバー人材センター令和 7 年度定時総会
- 16 日・まち・ひと・しごと創生会議
・まち・ひと・しごと創生会議
・まち・ひと・しごと創生会議
・まち分科会

7 月

- ・芝山鉄道延伸連絡協議会令和 6 年度監査
- 17 日・広報委員会
- 20 日・例月出納検査
- ・まち・ひと・しごと創生会議
- ・まち・ひと・しごと創生会議
- ・まち・ひと・しごと創生会議
- ・まち・ひと・しごと創生会議
- 23 日・横芝光町地域公共交通会議
- 26 日・令和 7 年度主要地方道飯岡一宮線バイパス建設促進期成同盟会通常総会
- ・令和 7 年度第 1 回成田国際空港騒音対策委員会山武・横芝光地区部会
- 1 日・第 3 回総合計画審議会
- 3 日・匝瑺市横芝光町消防組合議会 7 月臨時会
- 4 日・町村議会広報研究会
- 7 日・令和 7 年度芝山鉄道延伸連絡協議会総会
- 8 日・成田空港周辺市町議会連絡協議会役員会及び総会
- 9 日・匝瑺市ほか二町環境衛生組合一般会計例月出納検査
- ・広報委員会
- 11 日・山武郡市議会議員研修会
- 14 日・民生委員児童委員推薦会
- 15 日・広報委員会
- 17 日・山武郡市環境衛生組合全員協議会
- 22 日・例月出納検査
- 24 日・山武郡市議会議長会視察研修会(25 日)
- 29 日・タブレット端末操作講習会
- 31 日・町村議会議員研修会

6月定例会
一般質問

横芝光町の町政を問う！

市原 成一 議員・・・P 6

- ◆町予算の財源確保が重要
- ◆成田国際空港周辺対策交付金の有効活用を
- ◆キャリア教育に効果的な周遊フライトの継続を望む
- ◆自動運転モビリティ事業の実証効果は



森 大地 議員・・・P 7

- ◆自治体DXの取り組みは
- ◆投票率を上げる取り組みは

森川 貴恵 議員・・・P 8

- ◆健康増進を図る施策は
- ◆町営住宅の現状は



霞 浩子 議員・・・P 9

- ◆県道横芝下総線バイパス交差点の安全確保のための取り組みは
- ◆持続可能な農業の担い手不足対策は

秋鹿 幹夫 議員・・・P 10

- ◆防災DXの取り組みは
- ◆盤石な通信インフラを確立する為の対策は



内田 美穂 議員・・・P 11

- ◆当町の「教育大綱」の目標は
- ◆学校給食で大切にしていることは

宮園 博香 議員・・・P 12

- ◆民家防音工事は第3滑走路が供用になるまでには終わらない
- ◆民家防音工事を実施しないとエアコンの補助対象からものぞかれる



川島 富士子 議員・・・P 13

- ◆少子化対策・子育て支援、0～2歳児の保育料無償化を
- ◆「被災者支援システム」の導入、千葉県との協定締結を
- ◆一人暮らしのシニア世帯を支える体制の拡充を
- ◆認知症とともに生きるまちづくり、希望宣言の町民への周知を

山崎 義貞 議員・・・P 14

- ◆農業後継者の支援を
- ◆水道水の検査PFAS検査は
- ◆水道水供給事業者と給水事業体との関係は



Q 成田国際空港の更なる機能強化を

生かしたまちづくりを

A 千載一遇のチャンスとして
一層まち発展のため努力したい

町予算財源の確保が重要

Q 町の人口減少とともに、税収などの自主財源が減少し、国・県補助金等の依存財源は、益々重要性を増すと思う。過去に国の有利な交付金を活用しない事業が見受けられたが、現時点で補助制度が終了するものはないか。

A 災害等への迅速な対応には、十分な一般財源の確保による健全財政の維持が必要であり、加えて国・県等の財政支援も大変重要であると認識し、予算編成方針でも補助制度の動向を把握しつつ積極的に活用することとしています。これら支援策には廃止や見

直しされる制度もあることから、今後も補助金の有効活用に向け注視してまいります。また、現時点で補助制度終了が見込まれるものが1件あります。

成田空港周辺対策 交付金の有効活用を

Q 乗客の少ない自動運転モビリティバス事業と、事業展開方法を検討すれば町負担が軽減できたであろう住宅政策は、効果という利益が見えず利益相反の状態では。このような事業への空港交付金の充当は果たして「まち発展のため」と言えるのか。

A 自動運転モビリティ事業は、周辺にない

交通サービスの導入実現により先進的で魅力ある住みやすいまちとして、子育て世帯住宅事業は、空港機能強化による従業者の増加を見込み移住促進を目的に実施したものです。

キャリア教育に効果的な 周遊フライトの継続を

Q 過日の新聞報道に当町の周遊フライトが取り上げられ、子ども達は、「楽しかった。」のみならず「将来の就業先と考えたい。」との感想も述べていた。このような事業こそが若者の人口流出を抑止し、定住人口を増やす効果があるのでは。財源にあつては、航空業界との経済の循環や

人の繋がりも生まれることから過年度同様に空港交付金での実現を望む。



議員 市原 成 一
いち はら しげ かず

A 航空機を身近に感じ、航空業界で働く人々に興味を持ってもらうことを目的に、令和2年度から小学6年生を対象にチャーター便で実施してきました。実際に飛行機に搭乗し、空

の上の航空教室として「学び」と「成長」に繋がることとが事業の魅力であり、非常に効果的であると感じています。航空需要の回復とともにチャーター便の機材確保が難しくなっている現状ですが、子ども達が空港の役割や町と空港との繋がりについて考え、将来航空業界の担い手になっていけるよう

う、引き続き予算の確保に努め、事業継続を目指します。

自動運転モビリティ 事業の実証効果は

Q 事業開始時点では補助率100パーセントが起源。現在では補助率が下がり、何年後には補助制度の終了することを示唆しているが、いつまで継続するか。実証効果が見えず、将来的に残るのは重い財政負担のみと考える。レベル4へのステップアップでは経営面の効果検証も加わるが、現時点の利用状況は。

A 自動運転モビリティ事業の1便当たりの乗車人数は、0.63人、1人当たりの輸送コストは、78,172円です。運賃無料での実証運行ですが運賃を仮に100円とした収支率は0.13パーセントです。補助制度は2027年度までは国の補助金を見込んでいます。



もり だい ち 議員
森 大 地



当町の今後の情報発信は



公式ラインの活用を目指し 調査・研究を行っていく



公式ラインを充実させた自治体では、職員の業務負担軽減や住民の迅速な情報提供などのメリットがあると伺いました。

例えば、神奈川県座間市では公式ラインを活用し、災害情報や行政サービスを効率的に発信しております。当町でも公式ラインの機能を拡充することで、行政の効率化と住民の利便性向上に期待できると考えます。

今後の方針や具体的な取り組みについて伺います。



現在の情報発信はまちナビアプリを利用

していますが、まちナビアプリは運用コストが必要でありバージョンアップが技術的に困難であることから令和7年度を持って終了予定です。このことから、アプリによる情報発信は、運用コストが無料でまちナビ2と性能が同等以上の公式ラインが中心的に活用されるという見込みになっていきます。今後は、まちナビ2



当町における投票率向上の具体的な取り組みと今後の施策、特に若年層や無関心層の投票意欲を高める方策について伺います。



選挙時は広報よこしばひかり、町ホームページ、防災無線及び啓発物資を活用して選挙に対する啓発を行い、有権者の関心を高め棄権を防ぐように努めています。また、将来の有権者となる世代に選挙の関心を高めてもらうことを目的に、町内小中学校の児童生徒に対して標語やポスターの募集を行い、実際に使用する投票箱や記載台の貸し出しをするなど、若年層に対し興味を持ってもらえるよう努めています。

さらに、18歳を迎える新有権者には、啓発物資を送付し選挙への意識を促し投票を呼びかけ、二十歳を祝う式典においては、選挙制度をより理解してもらうための啓発パンフレットを配布



公式アカウント



他市町村の事例だと、道路通報システム、火災などの防災アナウンス、デマンドバス、行政サービスが一元化してこの公式ラインに組み込んであり全人口の約9割の方が活用している現実から、各種アナウンスや、行政サービスのオンライン化、また道路通報等の町役場への情報を一元化し縦割り行政の緩和を目指してほしいと思います。

の終了により不便が生じないように、周知を図ります。また、公式ラインを当町よりも活用している市町村を参考に、セキュリティ等の配慮をしながら住民の利便性向上や行政サービスの効率化に向け調査、研究を行っていきます。



しています。なお千葉県知事選挙、衆議院議員選挙及び参議院議員選挙の実施期間中においては、町婦人会の役員を中心とした横芝光町明るい選挙推進協議会を設置し、選挙に対する有権者の関心をさらに高めるため、町内の商業施設で啓発活動を行っています。

Q 町民の健康増進を図る施策は

A 「横芝光町健康増進計画及び自殺対策計画」を策定し取り組んでいる

健康増進を図る施策

Q 食を通じた健康づくりの推進とは

A 「バランスの良い食事（主食・主菜・副菜）を心がけましょう。」をスローガンとして取り組んでいます。令和6年度は、教育課と各小中学校を通じ、小児生活習慣病予防の事後指導や食生活改善普及員の協力のもと親子の食育を目的としたおやこクッキング、学校で開催される10000カ所ミニ集会での食育に関する講話、横芝敬愛高等学校では簡単クッキングを実施しました。

Q 健診や相談・訪問指導、各種講座や教室

の取り組みは。

A 福祉課や住民課では、フレイル予防や減塩等の栄養講話、子育て支援センターでは離乳食の講話を行っています。その他「プ

ラム」では、乳幼児健診や乳幼児健康相談、特定健康診査や後期高齢者健康診査の事後指導、糖尿病性腎症重症化予防事業では個別面談や訪問による栄養相談を実施しており、年代や性別に応じた健康的な食生活の推進に取り組んでいます。

Q 町内で健康遊具を設置した公園は

A 坂田池公園には、シットアップベンチ、

プレスバーベル等5つの筋力向上のための健康遊具が

設置されています。

Q 町内の熱中症対策は

A 昨年度は、町民会館、文化会館、図書館、役場、プラム、ヨリドコロを、

クーリングシェルターに指定し、ロビーの一部を休息スペースとして、熱中症予防のリー

フレットやうちわを配布し啓発を図りました。今年度は、クーリングシェルターの

指定箇所を新規に増設できるように調整しています。

Q 行政サービスを支える職員や業者の方への対策は

A 労働安全衛生法の規定に基づき職員の安全及び衛生に関し必要な事項を定めるため、総括管理



議員 川 貴 恵 森

者として総務課長、衛生管理

者として保健師、産業医として医師などで構成され

た横芝光町衛生委員会からクールビズをはじめ、外気温に

温に応じた室温の温度調整や熱中症予防の周知・啓発

に取り組んでいます。

Q 救急隊の水分補給のためコンビニ利用を認める方向で考えられないか

A 消防組合に確認したところ、コンビニを利用しなければならぬほど切迫した状況ではなく、搬送終了後適宜水分補給が

できているとのことでした。

町営住宅

Q 現状は

A 栗山町営住宅は、全体の戸数42戸、うち

入居が34戸、小田部町営住宅は、全体の戸数44戸、うち入居が31戸。令和6年度は、栗山住宅7件、小田部住宅9件の修繕実績があります。

Q 家賃はどう決まるのか

A 入居者からの収入申告書をもとに所得額を確定し、そこから公営住宅法に定められた控除項目の該当を審査し、該当すれば控除を行って家賃算定額の計算をおこない決定されます。

令和7年度は、金額が上がった入居者が7戸、下がった入居者が4戸、金額に増減がなかった入居者が54戸でした。

Q 今後の方針は

A 将来的な見通しとしては廃止が念頭にありますが、当面は入居状況を考慮しつつ適正な維持管理を行っていきます。



かすみ ひろこ 議員
霞 浩 子

Q 基幹産業である農業を守るための 担い手不足に対する施策は

A 農業支援のあり方について
研究させていただきます

Q 千葉県で信号機のな
い交差点の事故発生
件数で常にワースト3位以
内にランクされ、4月に日
本テレビの番組でもこの交
差点が全国ワースト2位と
放送されたことを町長はど
のように感じていますか。

A 不名誉な認識である
ことは間違いござい
ません

Q 前回の質問から約2
年、どのような安全
対策をさせていただいたの
でしょうか。

A 直近2年間につしま
しては、各種安全対
策を実施した状況の交差点
で新たに対策を追加します
と情報過多となり、運転者
の注意が散漫することから、
追加での安全対策は実施し
ておりません。

Q 何か取り付けるので
はなく、赤の点滅の
信号を県警へ交渉してもら
えないでしょうか。

A 改めて県警の方へお
話をしてみたいと思

います

要望 例外を認めてもら
う
お願いをしているわ
けですから、何度でも根気
よく交渉をお願いします。

Q お米にスポットライ
トが当たっている今
こそ農業を見つめ直す時で
はないでしょうか。

稲作の場合の農業従事者の
支援は。

A 町の支援は営農集団
に高性能機械や近代
化施設を導入する事業に対
しての補助があります。他、
国や県への補助事業申請書
類の支援や相談を行ってお
ります。

Q 農業に元気を感
じる
旭市では、新規就農
者や親元就農者に各種支援
金がありますが、町長は、
当町の基幹産業である農業
への支援を、どのようにお
考えですか。

A 農業支援のあり方
について、研究させて
いただきます。

Q 移住者が農業をした
い場合の受け入れ体
制は

A 農業技術の習得、農
地の確保、機械調達、
資金や住宅などの多くの問
題を山武農業事務所や農業
集団と協力しながら対応し
ております。町においても
関係各課で情報を共有して
ワンストップで支援できるこ
とが望ましいと考えられま
すので体制の構築について
調査・研究してまいります。

Q 耕作放棄地の管理は

A 各地区の農業委員や
農地利用最適化推進
委員の方から地権者や周辺
耕作者へ農地の利用を働き
かけているところです。ま
た、土地改良区施設整備事
業等による保全事業、多面
的機能支払交付金事業によ
る地域での解消事業、農地
中間管理機構を活用した有
効利用など様々な事例を研
究し、取り組んでまいりま
す。

Q 病害虫の発生や芝火
災の原因になるので
多面的機能支払交付金を受
ける地区が増えるよう、広
報で特集を組んでアピール
して下さい。

A 現在受けているのは
15地区、町内農地面
積の4分の1です。広報の
掲載を早期に行い推進して
まいりたいと思います。

Q 南条支線基盤整備事
業の進捗状況は

A 1期地区は令和10年
度採択目標に、2期
地区は令和11年採択目標に
進めています。3期地区は仮
同意率90%を超えたものの、
まとまった地域で同意を得ら
れていないので引き続き話し
合いを進めてまいります。

要望 基盤整備を行う事に
計られ生産性が向上する。
まさに担い手不足を解消す
る一番の手段ではないかと
思います。地元議員として
計画通りに進むことを強く
望みます。

Q 防災DXの取り組み状況は

A 迅速で的確な情報伝達手段を確保

Q 防災DXについての取り組みは

近年、激甚化・頻発化する自然災害への対応が喫緊の課題となっており、町民の生命と財産を守るためには、災害対応力の一層の強化が求められています。その中で、デジタル技術を活用した防災DXの推進は、極めて重要な施策であると認識しています。主な取り組みとしては、氣象警報発表時の警戒配備では、情報収集体制として、台風の予想進路や降水量などの氣象情報に加え、河川の水位を監視する水位計やライブカメラの映像等をweb上で収集し、リアルタイムで状況を把握できる

体制をとっています。また、住民への迅速・的確な情報伝達手段の確保としてエリアメールの強化を図るため、国内主要携帯電話（NTTドコモ、KDDI、ソフトバンク、楽天モバイル）4社に対応できるよう令和6年度にシステムの更新を行いましたところ。これにより、災害発生時に迅速かつ的確な判断を行い、町民への避難情報発信へと繋がっています。また、町民自らが災害リスクを把握できるよう、公開型GIS「横芝光町地図情報システム」にハザードマップを掲載し、インターネットを通じて誰でも確認できる環境を整備しています。

この他、災害物資の調達及び輸送調整等の支援として新物資システム（B-Proc）を導入しており、有事の際には、国、県とシステムを通じて連携し、物資の支援要請や調達が速やかに行えるよう体制づくりに努めています。

Q 大規模災害が起きると、様々な情報を各機関から収集する必要があります。その各所は縦割り行政でそれぞれに連絡を取ってデータを送って貰ったり、またそのデータ形式がバラバラで互換性が無かったりと懸念材料がある。この障害を解決するシステムとして、SOBOWEBというものを国が提供している

が、当町は導入しているのか。

A 令和6年度に導入しておりますが、システムの活用については研修等も必要なことから、現在はい十分に活用できる状態にはなっておりません。

要望 他自治体ではIoTシステムを搭載した街路灯とか、水位計等の各種センサー等を活用する自治体も出て来ている。その様な情報がSOBOWEBから周知されて行く事も考えられるので、早急に研修を進めて、活用出来る様な対応をお願いします。

Q 防災DXは当然、通信技術が重要となつ



秋 鹿 幹 夫 議員

て来ます。磐石な通信インフラを確立する為に、どのような対策を取っているのか。

A エリアメールにつきましては、Jアラートと連動しまして、Jアラートが起動した場合に、当町を中心とした一定のエリアにいる方に、4つの主

要の携帯電話に発信される仕組みになっています。こちらのシステムにつきましては、専用の回線で構築されておりまして、通常のインターネット回線よりは強靱なものと考えています。





うちだ みほ 議員
内田美穂

Q 安全で安心な食材を 提供するためにしていることは

A 町内産、県内産を使用するよう
努めています

教育目標

Q 当町の「教育大綱」の目標は

A 教育大綱の基本理念は「自立した未来の担い手を育てる」で、基本

理念を受けての基本目標は、「次代を担う子どもの確かな学力と生きる力の育成」「安心・安全な教育環境の整備と充実」「健康でいつまでも学べる機会と環境の提供」「健康づくりの実践とスポーツ活動の振興」「多様で特色ある豊かな文化と芸術の振興」です。

Q 時代が急速に変化し、学習観も非認知能力が重視されるなど変わってきているが、改訂の予定は

A 現在策定作業を進めている、第3次横芝光町総合計画策定後に改訂する予定です。

Q 子どもたち一人ひとりが安心して学校生活を送り、幸せを実感できることが大切で、社会の中

で幸せに生きていくために必要な力を学ぶ場が学校だと思つので、教育大綱の最上位目標を「子どもたちの幸せ（ウェルビーイング）」にしようか。

Q 第4期千葉県教育振興基本計画の中にも「ウェルビーイング」という言葉が使われているので、今後検討します。

Q 学校給食を提供するために大切なことは

A 多様な食品を適切に組み合わせ、既製品にはない献立を手作りで調理しています。また、町独自の食物アレルギー対応メニューを作成し、除去食や代替食の提供を行っています。

学校給食

Q 安全で安心な食材を提供するためにしていることは

A 野菜等の食材は、町内生産者との直接契約を優先的に行い、町内産、県内産を使用するよう努めています。

Q 有機米や有機野菜を提供したことはあるか

A 提供した実績はありません。購入価格の上昇、必要な規格や数量の確保ができないため、現状での利用は難しいと考えています。

Q 月1回または年1回だけの提供でも難しいのか

A 少しでも取り組めるように努めてまいります。

Q 現状、安定供給できないのであれば、有機米や有機野菜を少しでも供給できるような取り組みをする予定はないのか。「みどりの食料システム戦略」によると、2050年までに耕作地の25%を有機農業にする、農薬の使用リスクを50%低減する、化学肥料の使用量を30%低減すると

いう目標を立てているが、当町では、そのような方向に動いていないのか。

A 有機農業に関する農家への支援策については、現在まだありませんが、今後町としての有機農業への取り組みについては、検討を進めています。令和6年度には、千葉県主催の有機農業研修会及び循環肥料研修会に参加し、本年8月には町農業振興会が令和5年3月にオーガニックビレッジ宣言をしている佐倉市の視察を実施します。今後、みどりの食料システム戦略の目指す目標達成に向けた町の取り組み方法を精査するため、農家への周知や意向調査の実施などを検討しています。

※その他の質問

・学校の教育環境をどのように評価しているか

Q 民家防音工事は5年経過しても

約29%しか終わっていない

A 町としても工事の進捗を加速する必要があると認識している

Q 第1種騒音区域の民家住宅防音工事については、令和2年4月から事業が実施されています。令和7年4月1日現在の防音工事の状況は、対象件数3,700戸に対し、受付をした世帯が2,256戸で、申込世帯の割合としては約61%、認定された世帯が1,194戸、確定された世帯が1,080戸ということです。5年間の経過したにもかかわらず、対象件数からすると約29%しか防音工事が済んでいません。成田空港の3本目の滑走路が供用開始になるのは令和11年3月ということであり、あと4年を切りませんが、現在認定を受けた世帯は、供用開始までに防音工事が間に合うのか、お伺いします。

A 第3滑走路の供用開始までに、対象件数の工事が完了するかについては、町が明言できるものではありませんが、現在の進捗状況では厳しいのではないかと感じています。申請から着工までの待機が続く中、航空機の騒音対策として実施されている防音工事が計画通りに進まず、住民の生活環境に支障をきたしてしまう恐れがあることは、町として真摯に受け止めて、迅速に対応していかねばならないと考えています。町としては、工事の進捗を加速する必要がある

と認識していますので、より工事が進捗するように、引き続き成田国際空港株式会社に取り組みを求め、町も協力していきたいと考えています。

Q 民家防音工事を行う前には設計を組みますが、工事にかかる経費が補助金額を上回った場合は、防音工事を行うのをためらう世帯もあります。現制度では、防音工事を実施しなかった場合の設計料は、その世帯の負担となります。そうしますと、エアコンの補助対象からものぞかれます。それらの事案を解消する良い方法がないものか伺います。



議員 香 博 蘭 宮

A これまで防音工事を実施された方の大多数においては、限度額の範囲内で施工いただけているものの全室を防音化することができない事例がある旨も聞いています。そのような場合には、生活の中で主要となる部屋を中心に工事を実施するなど、限度額の範囲で防音化が図られるよう、住民の皆様と設計会社で工事内容を相談し、成田国際空港株式会社と一緒に考えながら進めていただいていると聞いています。住民の皆様におかれましては、騒音による障害の防止を図るため、家屋の防音化を進めていただきたいと考えています。また、その際に何

か不安に感じることがあったら、町並びに成田国際空港株式会社に相談していただければと思います。

※その他の質問

- 熱中症対策について
- ・小・中学生における対策について
- ・東陽病院の活用について
- 成田空港関係について
- ・周辺対策交付金の補助対象用途の拡充について
- 消防・防災について
- ・自主防災組織の育成について



かわしまふじこ 議員
川島富士子

Q 0～2歳児の保育料無償化を

A 無償化に向け鋭意努力を続ける

町長の政治姿勢

Q 少子化対策・子育て支援、0～2歳児の保育料無償化を。

A 当町の保育料は、近隣自治体と比較しても低く設定しております。東京都は、この9月から保育料の完全無償化が公表されており、少子化対策として非常に有効な施策であると認識しておりますが、東京都と当町の財政状況等を鑑みると、すぐに追従することは困難であります。今後も財政健全化に取り組みながら、保育料の無償化に向け鋭意努力を続け、子育て支援の、ひいては福祉施策のパイオニアとして取り組んでまいり所存です。

Q 「被災者支援システム」の導入、千葉県との協定締結を。

A 被災者支援システムは、被災者台帳と住家被害認定調査、罹災証明書等の各種被災者支援の状況をデジタル技術で連携させ、生活再建に係る業務全体を電子システムにより共有・管理するシステムです。令和6年1月1日発生の能登半島地震で、石川県内の全市町村が導入していた被災者支援システムが、住家被害認定調査の業務効率化に大きく貢献したこと、千葉県においても「千葉県被災者支援システム運用協議会」が千葉県と県内22市町村が参加して令和6年11月5日に設立され、令和7年3月26日に「被災者支援システムに係る契約に関する協定書」が締結されました。当町は参加しておりますが、最新の情報技術を用いたデジタル化による被災者生活再建支援業務の効

率化が可能となることから、積極的に検討してまいります。

福祉行政

Q 認知症とともに生きるまちづくり、希望宣言の町民への周知を。

A 高齢者の人口がほぼピークとなる2040年には、約3人に1人が認知症または軽度認知障害を発症する可能性があることが推測されており、認知症は誰もがなり得る一般的な症状と考えられます。一般社団法人日本認知症本人ワーキンググループが表明した「認知症とともに生きる希望宣言」は、認知症とともに暮らす本人一人ひとりが自らの体験と意見を言葉にした五つの希望宣言であり、認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも一人ひとりが「できること、やりたいうこと」を、住み慣れた地域でみんなとつながりながら希望を持って自分らしく

暮らし続けることができるという体験と生きたものであります。認知症基本法の施行に伴い、町では希望宣言を改めてホームページに掲載するなど、町民への効果的な周知に取り組んでまいります。さらに、認知症の人が尊厳を保ちつつ希望を持って暮らすことができるよう、認知症の人の視点に立った地域づくりに努めてまいります。

※その他の質問

- 町長の政治姿勢
- ・人口増への対策、更なる観光まちづくりを
- 教育行政
- ・教育施策の推進、積極的な「英語教育」の取り組みを
- ・教職員の負担軽減、デジタル採点システムの導入を
- 福祉行政
- ・一人暮らしのシニア世帯を支える体制の拡充を

Q ジャンボタニシ対策の

取り組みと支援は

A 千葉県では対策、経費等を助成する
防除対策事業を実施している

Q 国は農業従事者の高齢化と農村人口の減少の課題解決に向け年間2万人の新規就農者・青年農業者を確保する目標を掲げています。持続可能な農業は後継者の確保なくして実現できないし企業の農業進出では、地域の農業、農村の維持にはつながりません。新規就農者を確保する取り組みを求めます。

A 新規就農者数は令和6年までの5年間で19名。新規参入が3名、雇用が1名、親元就農が15名です。「農業後継者支援」について町では、国や県への補助事業申請書類等の作成支援や相談を行っています。新規就農者の確保とともに

千葉県山武農業事務所や農業団体と協力しながら農業従事者に対する支援を調査研究してまいります。

Q ジャンボタニシは、水田作物に深刻な影響をもたらす特定外来生物とされており、食害は稲作農家にとって非常に深刻な問題で、適切な防除対策が求められます。町の取り組みと支援は。

千葉県では対策経費等を助成するジャンボタニシ防除対策事業を実施しています。当町では2団体が事業活用し、防除対策に取り組んでいます。また、町では、国の米政策である水田活用直接支払交付金を申請し、米の生産目標

達成している農業者に対し、薬剤購入費用の軽減を図ることを目的とした、水稻病害虫等防除事業補助金を助成しています。



ジャンボタニシの防除対策は、地域が一体となって侵入防止策や食害防止策など総合的な対策を取り組むことが重要であると考えま



議員 貞義 崎山

す。地域に対する効果的な防除対策や県事業のジャンボタニシ防除対策事業の活用について周知していくとともに、町の現行制度を引き続き実施しながら防除対策に取り組んでいきます。

Q 水道水のPFAS検査は

A ピーフォスとピーフォアは、自動車、泡

消火器、食品包装紙、フロリング、調理器具のコーティング剤等に使われていましたが、蓄積性があり、発がん性や子供の成長への影響など有害性が指摘されたことなどから、多くの国で製造・輸入が禁止されており、分解されにくい物質であることから、これ

らを扱っていた施設からの排水が河川や地下水に流出することにより汚染が拡大することが問題となっております。ピーファス検査については九十九里地域水道企業団が栗山川及び浄水場の水質検査を定期的に行っており、検査の結果、令和6年度は1リットルあたり6ナノグラムであり、政府が定める暫定基準値の50ナノグラムを大きく下回っております。

Q 令和8年度から千葉県供給事業を開始します。県企業局と末端給水事業体との関係はどのようになるのか。

A 千葉県企業局と末端給水事業体及び構成市町村は、統合に関する基本協定により、経営状況や施設整備の取り組み状況等の情報共有を図る会議体を設置することになっており、水道水の安定供給に努めることとなります。

読まれ、伝わる議会だより

町村議会広報研究会

今この記事を読んで下さっているみなさま、本当にありがとうございます。

なぜ読んでいただけたのでしょうか。たまたま目に止まったから？そうであれば、今回の研修で学んだことを、多少ながら活かせるのかもしれませんが。

今回の研修では、どのように書いたら、読者のみなさまの目に止まり、読んでいただけるのかを学んで来ました。レイアウト、見出し、写真を上手く使うなど、他の市町村の実例を参考に、たくさんの学びがありました。

議会に関心を持つことは、自分たちの暮らしに関心を持つということだと思います。そして、議会だよりは、議会と町民のみなさまを繋ぐかけはしです。少しでも関心を持っていただき、みなさまに参加していただけるような議会だよりになるよう、広報委員一同、試行錯誤してまいります。



持続可能なまちづくり

山武都市議会議員研修会

「行政の予算や計画の骨子は未だ昭和感が色濃く残っていて、役所の組織や体制も昭和のまま、これで問題解決に向き合えるのでしょうか？」の問いかけにハッと、気づかされました。

地方創生法が施行されてから 10 年、国が用意したメニューを基に更なる予算を使って政策を実施してきたはずなのに、思うようにまちづくりが進まない…。社会は日々進化しているのに、行政の会議のメンバーは町の重鎮で、若い世代の意見の広聴はなかなか難しくなっている。固定観念にとらわれない視野の拡大・新たな可能性の発見が必要ではないか。

また、地域経営は、実は予算主義では実現しない、その逆の決算主義でなくてはならない。予算に目がいきがちだが、決算主義で考えることが大切で、ゴールを目指しての予算であり、何がどう変わったのか、目的が達成できたのかの検証が重要との講演でした。

この講演を受け、令和 6 年度決算を審議する 9 月定例議会は熱くなりそうです!!

議会を傍聴しませんか

9 月定例会は、9 月上旬から開催する予定です。議会開会中は、議会を傍聴することができます。

なお、9 月定例会の日程等詳細については、決定次第、防災行政無線及び町ホームページでお知らせいたします。

※なお、会議録の掲載は、議会終了後約 3 ヶ月を要します。現在、令和 7 年 3 月議会定例会までご覧いただけます。

《傍聴席での主な注意事項》

- ・電子機器（携帯電話・カメラ・パソコン等）は使用できません。
- ・録音機や拡声器類を携帯した方、酒気帯び等の方は入場できません。
- ・飲食や喫煙はできません。
- ・私語、談話又は拍手をしたり、みだりに席を離れることはできません。



※HP議会会議録

町内視察／

4月16日に、「大規模災害への対応」と「地元雇用の取組」について認識を深めるため、株式会社畔蒜工務店(写真①②)、株式会社大手 千葉工場(写真③④)、丸源起業株式会社 ひかりエコステーション(写真⑤⑥⑦)の視察を実施いたしました。



山武郡市議会議長会より、町議会議員として10年以上在職し、地方自治に功労があったとして、山崎義貞議員、宮園博香議員、秋鹿幹夫議員が表彰されました。

受賞おめでとう
ございます
山武郡市議会議長会
自治功労者表彰

編集後記

Editor's Note

令和7年6月議会は、9名の議員による一般質問で活発な意見交換を行ったほか、横芝小学校改築事業に関連した2件の追加による契約議案を含め11議案を議決しました。

今年の夏は、横芝小学校改築事業のほかに、中学校2校の講堂棟空調工事も進められ、町内教育環境はより一層充実したものとなります。

少子化現象が叫ばれる昨今、議会としてこの素晴らしき学舎で、児童生徒が健やかにそして立派に成長することを期待いたします。



広報委員会

委員長 小倉 弘業 副委員長 秋鹿 幹夫
委員 川島富士子 / 川島 仁 / 山崎 義貞 / 市原 成一 / 霞 浩子 / 内田 美穂